

2021. 11. 19

特定非営利活動法人 うりずん

理事長 東 宏明

（事業所名：障がい者支援事業所 うりずん）

●はじめに

障がい者支援事業所うりずんは、一般企業への就職が不安、あるいは就職が困難な障がい者を対象として、軽作業等を通して就労訓練を行なう就労継続支援 B 型事業所です。身体・知的・精神に障害のある人が地域社会の中で、自立した日常生活を営むために必要なサービスを提供し、かつ生活上の困難を克服していくための支援をしていくことを目的としています。

うりずんでは、1 人ひとりの特性に合わせて作業を分担し、一つの製品を作り上げています。皆で製品を作り上げる事により、利用者間に一体感と、協調性が生まれ、和気あいあいと楽しい雰囲気の中で作業を行っています。

- ・法人名 特定非営利活動法人 うりずん 理事長 東 宏明
- ・設立 平成 17 年 11 月 地域活動支援センターあゆみとしてスタート
平成 21 年 4 月 特定非営利活動法人うりずんへ法人化
平成 23 年 7 月 就労継続支援事業所 B 型認定
- ・職員数 管理者 1 名 職業指導員・生活指導員 6 名
サービス管理責任者 1 名 事務員・調理員 2 名
- ・事業所名 障がい者支援事業所 うりずん
- ・定員数 20 名

● 設立経緯と目的

当事業所は、養護学校を卒業した知的障がい者の「親の会」を中心に地域活動支援センターあゆみとして発足しました。当時は、障がい程度が重い卒業生は就労の受け入れ先が少なかったため、自宅に引きこもることも多く、障がい者の家族にとって卒業後の居場所を作ることが課題でありました。

発足時、利用者は 5 名程度で、仕事を見つけ提供することが出来ない時期もあり、祭りのイベント出店・役所ロビーでの軽食販売、お菓子の袋詰め等の僅かな作業と浦添市からの委託費で事業所経営をしている状態でありました。

その後、障害者総合支援法が施行されたことにより、継続的で安定した経営を続けるべく、特定非営利活動法人うりずんを立上げ、就労継続支援 B 型ならびに自立（生活）訓練の認可を受けることとなりました。

現在では、日々の活動の成果も伴い、利用者 18 名・役職員 9 名の規模になっており、作業の数もお菓子の袋詰め・雑巾製縫・リサイクル品回収・イモの皮むき等、少しずつ増えてきております。

就労継続支援 B 型の事業所の運営費用（職員の人件費等）については、国保連合会への請求による支援費にて賄われますが、利用者への工賃に事業所運営費（支援費）を充ててはならないとされています。

その為、利用者の工賃は雇用契約に基づくことなく、作業による売上から原価を差し引いた利益から支払われる為、利用者工賃は法律で定められた最低賃金には程遠いのが現状です。

当事業所の平成 30 年度の工賃は、月額 25,000 円程度の実績であり、委託作業など、個々の事業収益が少ないため利用者の工賃が低い事が課題となっていました。

より収益性の高い事業を営みながらも、一人一人の特性に応じた作業を提供し、働きがいのある環境を作ること、更にはしっかりと工賃を支給することで、達成感や喜びに繋げられる作業所を目指しています。

● 事業のテーマ

お菓子の袋詰め作業

● 作業概要・風景

お菓子の袋詰めの作業は、作業時間で全体の約 4 割を占め、利用者の障がいの程度に応じて作業を分担しています。一人一人がコツコツと作業を行う事で袋詰めが完了する流れとなっているので、職員は、作業を利用者と一緒に行いながら、利用者をフォローして作業が上手に出来るようになるまで、丁寧に支援を行なっています。

作業工程では、お菓子を袋に詰めた後に 2 台のシーラー機でパッケージングを行い、その最終段階で、パッケージに「賞味期限」を刻印しています。しかし、印字機能付きシーラー機は一台しかなく、「賞味期限」の刻印をするのに一旦作業を中断するという非効率的な方法となっていました。また、一つの印字機を使いまわす為、故障することも多々あり、スムーズに作業することの弊害になっていました。

この度、おきぎんふるさと振興基金からの助成を受け、シーラー機に取り付けることのできる印字機を購入致しました。シーラー機をフルに回転させることができ、約 1.5 倍程度の処理能力を向上することが可能になったと感じております。結果、令和 2 年度は平均 35,000 円を達成することが出来ました。

より効率の良い作業を行えることで、受託できる商品数を増やし収益性を高め、直接的に利用者の工賃向上が見込めると期待しております。

作業工程

- ① お菓子を計量し、袋に入れる。



- ② シーラー機でパッケージングして、同時に賞味期限を印字する。



以前はシーラー機が2台あっても、1台しか稼働していませんでした。



★ 助成金により購入した印字機



③ 効率的な作業につながりました！！



●今後の展望

工賃向上は就労支援B型事業所に課せられた使命であり、当事業所においても、お菓子の袋詰め作業の業績向上を事業計画の重要事項として鋭意に取り組んでおります。

当事業の製品は、塩トマト・梅干し・わかめ等を取り扱っており、製造の8割は大手企業からの受託製品であります。年々、受託先からの発注も増えており、特に夏場になると、一日3,000袋以上の納品を求められることもあり、より効率的な作業が必要で、2台目の印字機を導入することで迅速な対応が可能となりました。

新型コロナ感染症拡大の影響も多少ありましたが、委託事業も安定的に推移しており、今後の利用者の目標工賃も40,000円台を目指していきたいと考えております。より効率的に作業を進め、多くの受注につなげ、そして、当事業から生まれる収益を利用者の工賃に繋げ、楽しく、働きがい・生きがいのある場所を提供し、より充実した障害福祉サービス事業を図ってまいります。

●謝辞

この度、「2020年度おきぎんふるさと振興基金」のご支援をいただき誠にありがとうございました。当事業所のような小規模なB型事業所にとって、利用者に提供できる作業を確保し、そこで必要とされる機器を準備することは、運営上非常に重要なことで、事業の持続と発展につながったと思います。

今後も利用者が楽しく、生きがいを持って働ける場所を提供し、利用者と共に障がい福祉サービス事業の充実を図って参ります。関係者一同、心より感謝申し上げます。

●その他 事業所風景

ウエス製造・紅イモの皮むき作業



社会貢献活動 (毎朝、近隣の公園清掃活動を行なっています)



社会見学・地域交流事業 (働きがいのある職場として余暇活動も行っています)

